

1) Namba T., Hattori M., Tsunozuka M., Yamagishi T. and Konishi K.: Studies on dental caries prevention by traditional chinese medicines. Part III. In vitro susceptibility of a variety of bacteria to Magnolol and Honokiol, the components of Magnoliae cortex. *Shyoyakugaku Zasshi* 36: 222-227, 1982.

2) 吉国桂子, 小西健一: 濁度反応による便脂肪定量. *衛生検査* 31: 682-686, 1982.

3) 光戸 勇, 大槻典男, 佐野 勉, 金原武司, 山岸高由, 尾角信夫: *Mycobacterium fortuitum* になる皮下膿瘍. *皮膚臨床* 24: 605-609, 1982.

4) 吉国桂子, 小西健一: 電極法による尿糖定量. *衛生検査* 31: 1438-1442, 1982.

#### ◆ 学会報告

1) 山岸高由, 桜井信也, 坂本憲市, 久保義博, 小西健一, 刑部陽宅: *Clostridium perfringens* C型菌の毒素原性. 第55回日本細菌学会総会, 1982, 4, 東京.

2) 桜井信也, 坂本憲市, 山岸高由, 小西健一: マウスにおけるハプテン化細胞投与による接触性皮膚炎発現と抗体産生の抑制. 第55回日本細菌学会総会, 1982, 4, 東京.

3) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 大門良男, 松田正毅, 桜川信男: 本院で経験した *Salmonella typhimurium* 食中毒例について. 第36回北陸医学会総会, 1982, 9, 富山.

4) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 桜井信也, 林 君枝, 小西健一, 大門良男, 松田正毅, 刑部陽宅: *Clostridium perfringens* による食中毒例と本菌のエンテロトキシン産生性について. 第36回北陸医学会総会, 1982, 9, 富山.

5) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: デスクトップタイプのコンピューターを利用した細菌検査成績の統計処理について. 第29回日本臨床病理学会総会, 1982, 10, 岐阜.

6) 桜井信也, 小西健一: マウスにおけるハプテン化細胞投与による接触性皮膚炎発現の抑制 (その3). 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 名古屋.

7) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 林 君枝, 小西健一, 刑部陽宅: *Tórtora* の培地における *Clostridium perfringens* のエンテロトキシン産生性について. 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 名古屋.

8) 桜井信也, 林 君枝, 坂本憲市, 山岸高由: 接触性皮膚炎の抑制について. 第29回日本結核病学

会・第18回日本胸部疾患学会・第3回日本気管支学会合同北陸地方会, 1982, 11, 富山.

## ウイルス学

教授 庭山清八郎  
助教授 落合 宏  
助手 林 京子  
助手 宗像周二  
— 文部技官 中川明夫

#### ◆ 著 書

庭山清八郎: ウイルスの分類, 18-22, 抗ウイルス化学療法剤, 329-331, バクテリオファージの性状, 396-397, バクテリオファージの増殖, 397-399, マイコプラズマ類, 486-491, リケッチア類, 491-499, クラミジア科, 497-500, ウイルス, 500-586, 原生動物 (原虫), 621-634, 「微生物学」, 新井正編, 第2刷, 廣川書店, 1982.

#### ◆ 原 著

1) Niwayama S.: Antigenic structure of influenza virus by HI test. *Acta Medica et Biologica* 29: 59-69, 1982.

2) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子: インフルエンザウイルス HA の細胞に及ぼす影響について. 乳酸菌研究会に関する報告書, 昭和56年度: 236-238, 1982.

3) 芝田充男, 岡尾勇一, 上村 桂, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: A型インフルエンザウイルスの NA 抗原分析—N<sub>1</sub>型ウイルスの交差 NI 試験成績—. *臨床とウイルス* 10: 41-45, 1982.

#### ◆ その他

1) 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 徐 慶一郎, 岩瀬勇雄: SRCF によるマイコプラズマの血清学的診断法. *日本細菌学会雑誌* 37: 567, 1982.

2) 芝田充男, 岡尾勇一, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: インフルエンザウイルスの NA 抗原分析—N<sub>1</sub>型ウイルスの交差 NI 試験成績—. *日本細菌学会雑誌* 37: 574, 1982.

3) 林 京子, 庭山清八郎, 落合 宏, 元田昭策, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 芝田充男: インフルエンザウイルス HA の細胞に及ぼす影響について. *日本細菌学会雑誌* 37: 574-575, 1982.

4) 芝田充男, 阿部昭也, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: 1981年分離の swine 型のインフルエンザウイルスとブタの抗体調査成績. *日本細菌学会雑誌*

誌 37:575, 1982.

◆ 学会報告

1) 芝田充男他, 庭山清八郎, 落合 宏, 佐藤征也, 元田昭策, 林 京子: インフルエンザワクチンの予防効果について. 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 愛知.

2) 落合 宏, 林 京子, 庭山清八郎, 元田昭策, 佐藤征也, 芝田充男, 岩瀬勇雄: インフルエンザウイルスの NS protein について. 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 愛知.

3) 芝田充男, 阿部昭也, 根津ヒロ子, 庭山清八郎: 新潟県における恙虫病の血清学的診断と疫学的調査成績について. 第19回日本細菌学会中部支部総会, 1982, 11, 愛知.

4) 芝田充男, 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄: 1982年分離のインフルエンザB型およびA (H<sub>3</sub>N<sub>2</sub>)型ウイルスの抗原分析. 第30回日本ウイルス学会総会, 1982, 11, 京都.

## 薬 理 学

教 授	中 西 穎 央
助 授	武 田 龍 司
助 手	百 瀬 弥 寿 徳
助 手	山 崎 弘 美
文部技官	西 口 慶 子

◆ 原 著

1) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S.: Effect of phenobarbital in vivo treatment on the acetaldehyde oxidizing activity in rat brain. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 17: 220-225, 1982.

2) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S.: Effect of disulfiram and cyanamide in vivo treatments on the activity of aldehyde dehydrogenases of subcellular fractions of rat brain. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 17: 417-424, 1982.

3) Momose Y. and Takeda R.: The inhibitory action of acetaldehyde on the tonic component of the potassium-induced contracture in the guinea-pig taenia caeci. *Arch. int. Pharmacodyn.* 255: 27-38, 1982.

4) Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R., Ogita Z. and Nakanishi S.: Activity and electrophoretic profiles of liver aldehyde dehydrogenases from mice of inbred strains with different alcohol preference. *Int. J. Biochem.* 15: 179-184, 1982.

◆ 学会報告

1) Momose Y., Szabo G. and Giles W.: Acetylcholine-induced outward current in single Bullfrog atrial cells. 26th Biophysical Society Meeting, 1982, 2, Boston.

2) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: アルコール嗜好性と脳アルデヒド脱水素酵素. 第55回日本薬理学会総会, 1982, 3, 東京.

3) 榎 彰, 武田龍司: ネコ脊髄運動ニューロンに対するアセトアルデヒドの作用. 第55回日本薬理学会総会, 1982, 3, 東京.

4) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: マウスのアルコール嗜好性と脳アルデヒド脱水素酵素: アルコール嗜好性の異なるマウス脳アルデヒド脱水素酵素の細胞下分布. 第17回日本アルコール医学会総会, 1982, 10, 横須賀.

5) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: マウス脳アルデヒド脱水素酵素活性に及ぼす light-dark cycle の影響. 第33回日本薬理学会北部会, 1982, 10, 富山.

6) 榎 彰, 武田龍司: 蛙摘出脊髄ニューロンに対するアセトアルデヒドの作用. 第33回日本薬理学会北部会, 1982, 10, 富山.

7) Szabo G., Momose Y. and Giles W.: Electrical properties of the inwardly rectifying potassium channel in heart cell membranes. 7th Congress of Biophysics of Brazil, 1982, 12, Rio de Janeiro.

## 保 健 医 学

教 授	渡 辺 正 男
助 授	鏡 森 定 信
助 手	濱 田 仁
助 手	成 瀬 優 知
文部事務官	越 崎 一 美

◆ 原 著

1) Watanabe M., Honda S., Hayashi M. and Matsuda T.: Mutagenic effects of combinations of chemical carcinogens and environmental pollu-